

## 【水と私たちの生活】

翔凜中学校 二年 岩瀬 琴羽

みなさんは、災害を経験したことがありますか。私は小学三年生のとき、台風の影響で強い雨により停電をしてしまったことがありました。私の住む地域では台風から二日ほどたつて電気が復旧しましたが電気のない二日間はとても生活しにくかったです。例えばお風呂、トイレ、飲み水などです。お風呂では、しばらくは湯船につからずに浴槽にためておいたお湯を使い、お湯が少なくなったらやかんでお湯をわかして使っていました。トイレはある程度ためてから流すようにし、飲み水はスーパーや家にあるペットボトルを飲んで生活しました。

私はこの二日間を通して、改めて水の大切さを感じました。私たちは水に助けられて生活しているのです。水は私たちにたくさんさんの影響を及ぼします。そこで私は、水はどのようにして私たちの生活に関わっているのか、私の住んでいる千葉県の場合で調べてみました。

まずは、千葉県全体の水の使用量です。令和四年度の一日の水の使用量は約八十六万立方メートルとなっているそうです。千葉県で一番水を使っている施設として、東京デイズニールゾートなどが挙げられます。千葉県は特に水の利用率が高いのです。水はいくらでも使えるというわけではありません。水も資源であり、限りあるものです。これからも生きていくために私たちは水と向き合っていかなければなりません。

そこで私は水の無駄遣いに気をつけて生活します。具体的には三つのことを日頃から取り組みたいと思います。一つ目は、シャワーの出しっぱなしです。私は特に冬場になると寒いという理由でつい、シャワーの水を出しっぱなしにしてしまいます。シャワーの出しっぱなしでは一分間出しっぱなしにただけでおよそ十二リットルの無駄になってしまうそうです。私は三分間ほど水を出したままにしている、約三十六リットルもの無駄を作ってしまったと知りました。なのでこれからは寒くても出しっぱなしにせず、気をつけていきたい

です。

二つ目は、トイレを流すときです。トイレを流すとき、流すときの強さとして大と小があります。その大小を使い分けるだけでも水が節水できるそうです。私はいつもなんとなくで大を使っていたので、今度から気をつけたいです。

三つ目は、歯磨きのときはコップを使うことです。私はこれまで、コップを使つてうがいをしていましたが、コップの中の水を使つて歯ブラシを洗つたりせず、蛇口から出た水をそのまま使つて洗つてしまっていました。これからは、コップにためた水を使つていこうと思います。

私は、今回水と人の生活の関係について調べてみて改めて水の大切さを感じました。これからも生活していくためにも小さなことから節水を始めて、水の無駄を減らしていきたいです。